



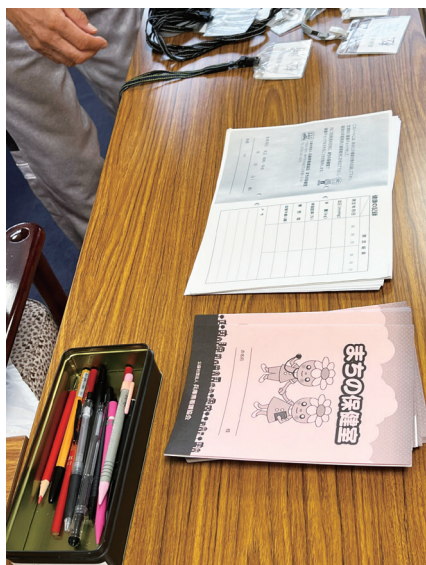
神戸西部支部では、コロナ感染症の流行を受け多くの拠点を活動を中止していましたが、今年度唯一活動できた狩口台について報告させていただきます。

令和3年12月12日は、コロナ感染症第5波がやや落ち着き私たちがホット一息ついた時でした。地域の担当者の方々と、感染対策について確認を行い実施しました。

狩口台の「まちの保健室」には70～80名の方が来られていましたが、今回はコロナ感染予防の観点から、事前申込制を取り入れ、52名と多くの方々の参加をいただきました。



この地域の皆様は、元気な方が多く医療機関を受診されていない方も多くおられます。皆様にとって「まちの保健室」で定期的に体組成、骨密度、血管年齢を測定することで、自分の健康指標とされているようです。「まちの保健室」の健康手帳を毎回持参していただき、前回のデータと比較しながら看護師の健康相談を受けることで、自分の健康管理に自信をもって日々を過ごされている様子を知ることができ、私たちボランティアも「活動に参加してよかった」と思っています。



参加された皆様からは「親切に相談に応じ適切な指導助言をいただき、自らの健康状態を確認でき大変有難かった」と喜んでいただいています。



参加者には、ご高齢の方の割合が高く、自らの健康に真剣に気遣う様子が窺えました。これは「まちの保健室」に期待する度合いがますます高まっているということだと思われます。



活動が終わると主催者全員で片づけを行い、最後に反省会があります。そこで出された意見をもとに次回の対策を立てています。

私たちボランティアは、地域のふれあいまちづくり協議会の皆様が「まちの保健室」活動に積極的に協力していただけるおかげで、コロナ禍の中でも感染対策が取られ安心して活動ができました。この地域における「まちの保健室」のニーズにこれからも応えていきたいと思います。

参加者年齢別男女集計表

年齢	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～89	90～	計
男	0	0	0	0	1	2	3	8	0	14
女	0	0	2	1	1	7	6	21	0	38
計	0	0	2	1	2	9	9	29	0	52

活動協力者の内訳表

区分	看護協会	狩口台 ふれあいまちづくり	あんしんすこやか センター	シルバーカレッジ OB	その他	計
人員	6	13	2	2	4	27

今後「まちの保健室」は、地域の方々の健康管理や予防などに、今よりも必要な活動になっていくと考えます。医療機関で働きながら地域の皆様の生活を知ること、退院後の生活相談や退院調整に、必要な知識が得られていくと考えます。多くの看護師が地域に出向いて人々の生活を知るそんな「まちの保健室」になっていきたいと思います。

